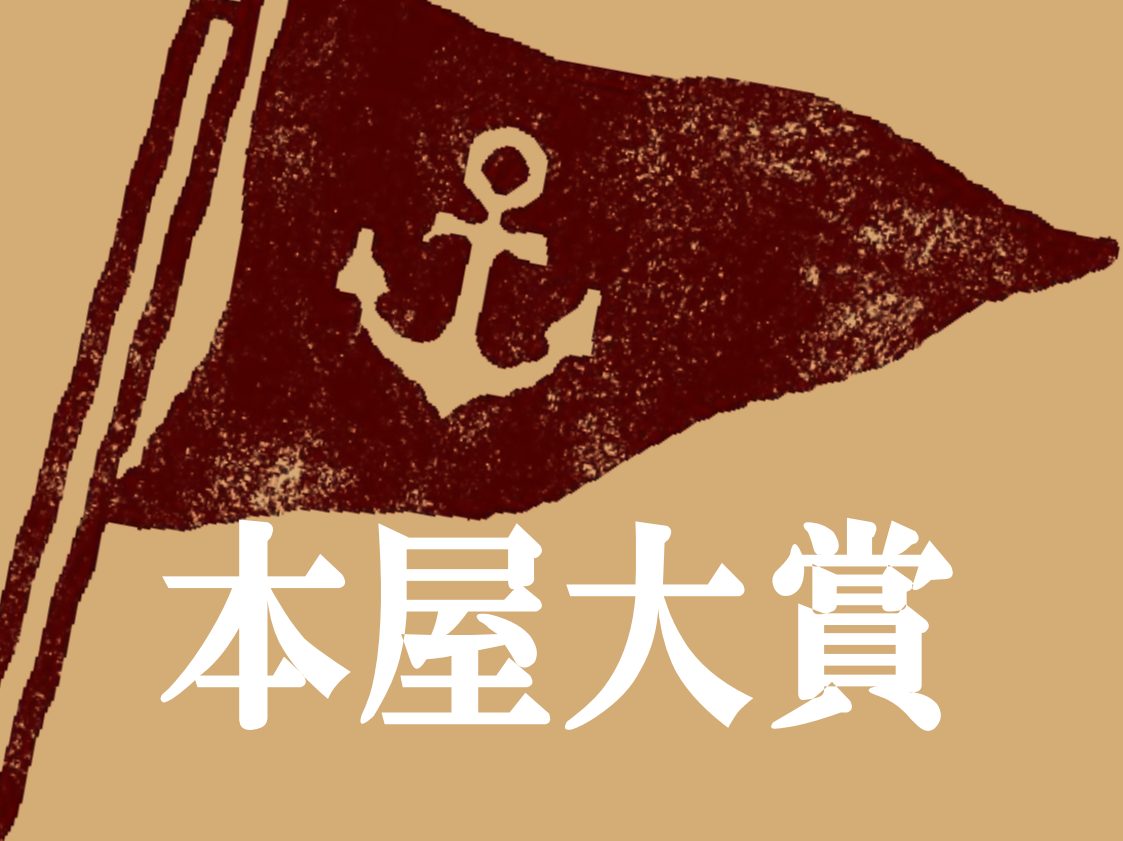


本屋山本周 大賞五郎賞

二〇一五年二月→三月

四條畷キャンパス企画展示

予想できる



本屋大賞

「出版不況」「本の売れない時代」
年々縮小する出版業界の現状を
打破するために設立された。
本を知り、読者を知る書店員に
よって選ばれる賞である。

選考委員は全国の全書店員。
書店員自身が自分で読んで
「面白かった」
「お客様にも薦めたい」
「自分の店で売りたい」
と思った本に投票を行う。

「とっぴんぱらりの風太郎」
万城目 学(著)



2013年刊行。
歴史スペクタクル長編。

2014年度本屋大賞第5位
直木賞候補作。

「鴨川ホルモー」
「偉大なるしゅららぼん」
「プリンセストヨトミ」に続く4度目の入賞。

選考対象は、
過去1年に刊行された日本の小説。

山本周五郎賞

山本周五郎賞とは、
昭和期に活躍した山本周五郎にちなみ、
すぐれた物語性を有する小説・文芸書に贈られる文学賞である。

主に大衆文学・時代小説の分野で
前年4月から当年3月までに刊行又は発表された小説が対象となる。



「楽園のキャンバス」
原田 マハ(著)

2012年1月刊行。
ルソーの名作をめぐる
若き研究者のアートミステリー。

第25回山本周五郎賞受賞。
2013年度本屋大賞において
第3位を受賞。



「夜は短し歩けよ乙女」
森見 登美彦(著)

2006年11月刊行。
京都を舞台とした
恋愛ファンタジー小説。

第20回山本周五郎賞受賞。
2007年の本屋大賞では
2位にランクインしている。

クライマーズハイ

有頂天家族

新世界より

くちびるに歌

偉大なる、
しゅららぼん

マドンナ・ヴェルデ

候補対象となる作品に
共通点があることから、

終末のフール

ジェノサイド

「山本周五郎賞の候補に上がれば、
本屋大賞に入る」

百年法

ビブリア古堂の

事件手帳

～葉子さんと奇妙な客人たち～

「本屋大賞のノミネート本から
山本周五郎賞が予測できる」

と噂される2つの賞。

光圀伝

舟を編む

本屋大賞発足の2004年から
所蔵作品でご紹介します。

世界から
猫が消えたなら

晴天の
迷いクジラ

海賊と
呼ばれた男

ピエタ

ソロモンの偽証